

【緑地を楽しむ本】

『すばこ』

キム・ファン 文 / イ・スンウオン 絵

ほるぷ出版



すばこは、ひとがつくった鳥の家。でもさいしょは、スズメやムクドリの子などをつかまえるためのわなだったとか。それが鳥の家として作られるようになったのは、100年ほど前、鳥が大好き

目する人はいなかったようですが、ある年ハマキムシの幼虫が大発生し、その地方の森や林のほとんどが葉を食べられて、枯れてしまいます。ところが男爵の森だけは、巣箱に暮らす鳥たちのおかげで無事だったことから、世界中に広まっていったとのこと。コツコツと巣箱をかけていった男爵の、鳥への愛情に胸が打たれます。

世界のいろんな巣箱が、かわいらしい絵で描かれています。

なドイツのベルレプシュ男爵が、自身の広大な領地になんとか鳥を増やしたいと、約3000個もの巣箱をかけたことが始まりなんだそうです。最初は、注

(遠藤)